

見えないものを高感度で分析！

先端研究をナノレベル分析技術でサポート

開発の内容

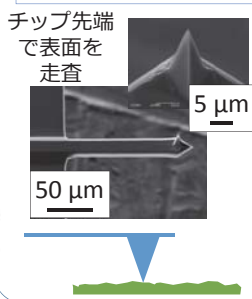
商品・サービスの内容

分子レベルの表面観察が可能な原子間力顕微鏡(AFM)と、分子構造分析が得意な顕微ラマン分光装置を組み合わせ、増強ラマンを用いたナノスケール材料分析技術を提供する。

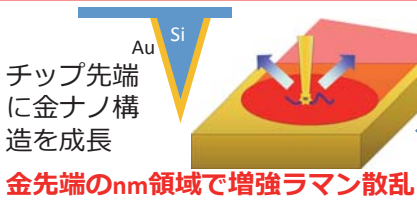


AFM-Raman装置

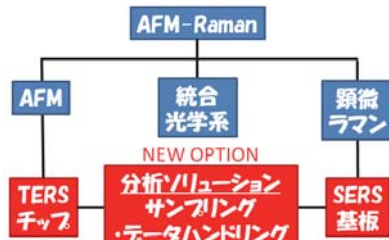
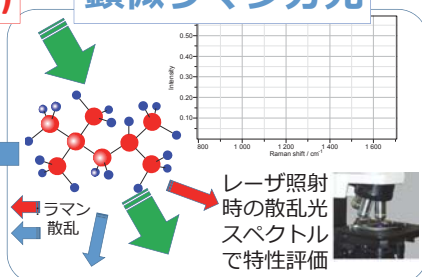
原子間力顕微鏡(AFM)



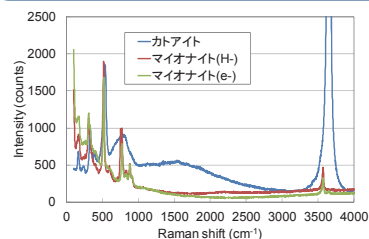
チップ増強ラマン分光(TERS)



顕微ラマン分光



マイクロから
実用的なナノ領域分析へ！



燃料電池水素発生材料のラマンスペクトル

ターゲットユーザー

各分野の研究・開発者（燃料電池、Li電池、有機薄膜電池、電池材料開発、ナノテクノロジー材料【グラフェン/カーボンナノチューブなど】、バイオ）

ユーザーベネフィット

研究者のラボで分子レベル材料分析を簡単に実施することで材料開発が加速する。

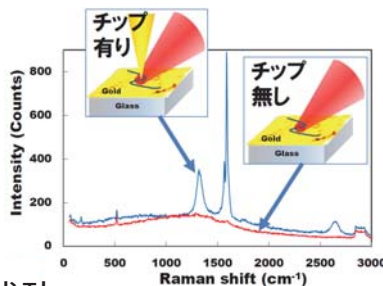
差別化のポイント

増強ラマンによる高感度分析により、不可能だったナノレベル分析が可能

成果

低価格AgチップでTERSイメージングに成功

堀場製作所にて開発中
京都大学COI拠点の研究開発課題もサポート



燃料電池材料評価
(アクアフェアリー)

京都大学-堀場製作所
増強ラマン分析技術

薄膜太陽電池
材料評価
(尾池工業など)

細胞培養
プロセス評価
(アークレイなど)